



● Department of Electrical Engineering and Computer Science ● Department of Materials ● Department of Applied Chemistry ● Department of Chemical Engineering
 ● Department of Interdisciplinary Engineering ● Department of Mechanical Engineering ● Department of Aeronautics and Astronautics ● Department of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering
 ● Department of Naval Architecture and Ocean Engineering ● Department of Earth Resources Engineering ● Department of Civil Engineering ● Department of Architecture

九州大学工学部

九州大学工学部で世界に羽ばたく 専門力を培いませんか

C O N T E N T S

学科一覧・入学から卒業までの流れ	03	航空宇宙工学科	17
入試情報	05	量子物理工学科	18
工学部生からの一言メッセージ	06	船舶海洋工学科	19
座談会	07	地球資源システム工学科	20
電気情報工学科	11	土木工学科	21
材料工学科	12	建築学科	22
応用化学科	13	サークル紹介	23
化学工学科	14	留学プログラム	23
融合基礎工学科	15	卒業生メッセージ	24
機械工学科	16	就職先リスト	25



九州大学大学院工学研究院長
大学院工学府長・工学部長
山本 元司

九州大学工学部は2021年（令和3年）に学科改組と入試制度改革を行い、専門性に合わせて複数の学科を束ねて構成した5つの学科群（I～V群）に入学後の1年間の学びの後に専門を決定できるVI群を加え、従来の筆記試験により学科群ごとに選抜を行う一般選抜、および各学科が修学に必要なとする適性を学力だけでなく意欲や関心なども含めて総合的に判断して学科ごとに選抜を行う総合型選抜による入試制度を開始しました。また、学部の学士課程4年間に大学院修士課程2年間を加えた6年間の一貫した教育プログラムを新たに整備し、最先端の情報技術教育を取り込み、目覚ましいスピードで進展する技術分野の高度化や様々な変化に対応できる人材を育成する体制を整えました。今年度は、新制度になって最初の入学生が3年生となり、各学科での専門教育を本格的に開始したところです。

九州大学は、2021年11月に文部科学省より「指定国立大学法人」として指定を受け、世界の大学と伍していくことが求められ、社会や経済の発展に貢献する取組の具体的成果を積極的に発信し、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されています。指定国立大学法人としての本格的な評価を受ける時期が近づいており、様々な観点から改革の成果を示そうとしているところです。九州大学工学部教職員はこのような状況に対応すべく全力で諸課題に取り組んでおります。

さて、九州大学は1911年（明治44年）に九州帝国大学工科大学として福岡市東区箱崎の地に創立され、1919年（大正8年）に九州帝国大学工学部、1947年（昭和22年）に九州大学工学部となり現在に至っています。この間、西日本の拠点大学として先導的な教育と研究を担い、これまで多数の卒業生を輩出してきました。卒業生の多くは国内外で先導的、指導的な立場として活躍されてきています。九州大学工学部は、今後も引き続き社会に貢献する人材、国際的な立場で活躍し世界を主導できる人材を、責任を持って輩出し続ける所存です。

九州大学工学部は、カリキュラムで示されている教育や研究室での先端的な研究活動はもちろんのこと、学生の自主的なものづくり活動のための創造工房への支援を行うとともに、北米と豪州への学生派遣・研修プログラム、英語授業のみでカリキュラムが構成されている学部国際コース、起業精神を育むアントレプレナーシップ教育プログラムなど、学生の自主的な学びを支援する多くのプログラムを備えています。さらに九州大学は、総合大学として様々な学問分野からなる教職員とそれらを学ぶ学生が学内外で多くの活動を実践しており、多様な学びと経験ができる可能性が豊富にあります。九州大学工学部に入学し、さらなる飛躍のチャンスを掴みましょう。

～100年の歴史と伝統、そして新キャンパスから未来へ～

1911年（明治44年）に創立された九州帝国大学工科大学が、工学部の起源です。100年の歴史と伝統を有する工学部は、戦前、戦後を通して、鉄道・土木・通信などの交通通信分野や鉱山・製鉄・造船・航空・機械製作・化学・繊維などの日本の礎となる基盤産業に多数の人材を輩出し、日本の発展を支えてきました。

1911年の発足以降、工学部は長きに渡って箱崎キャンパス（福岡市東区）に教育研究施設を置いてきましたが、大学のキャン

パス移転構想の第一陣として2005年（平成17年）10月から伊都キャンパス（福岡市西区）へ移転を開始し、2007年（平成19年）3月には建築学科を除く5つの学科が移転を完了しました。また、建築学科も2018年9月には、移転を完了しました。

自然豊かな広大な敷地の中に世界的にも最先端の施設や設備を有する伊都キャンパスは、工学部のこれから100年先につながる新たな歴史を刻む学び舎として皆さんを迎えてくれます。



▲1914年（大正3年）
九州帝国大学工科大学正面

▲箱崎キャンパス：旧工学部本館

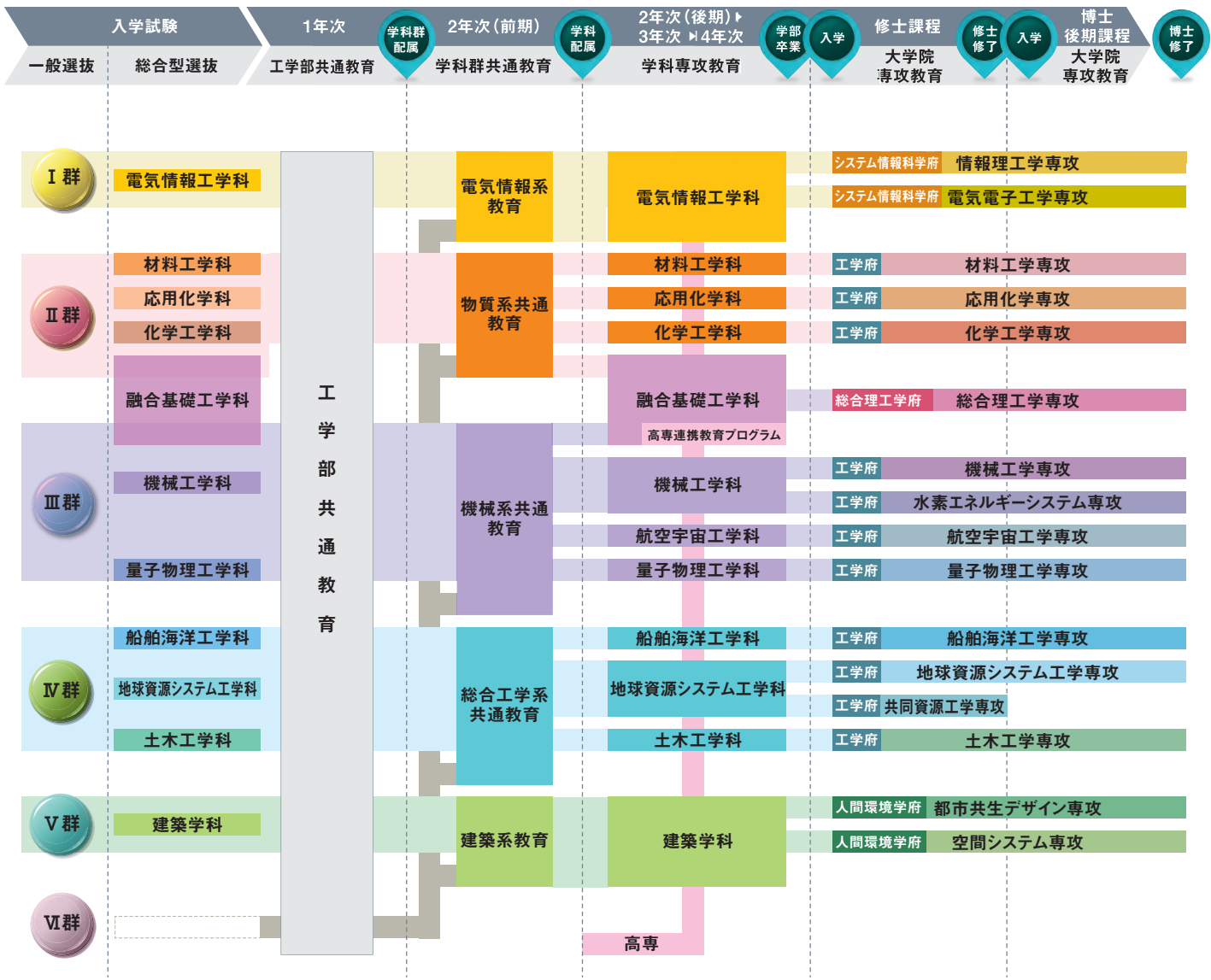
「九州帝国大学工学部銘板」
1919年（大正8年）前身である工科大学が工学部と改称された際に製作されたと考えられる銘板。戦時中、多くの金属製銘板が戦時供出された中、現存する貴重な銘板。
2017年10月、工学部同窓会の基金により本銘板のレプリカのモニュメント（記念碑）を伊都キャンパスウエスト4号館横に建立。

学科一覧・定員

群	学科	掲載 ページ	一般選抜		総合型 選抜	定員 合計	教育内容
			前期 日程	後期 日程			
I	電気情報工学科 Department of Electrical Engineering and Computer Science	P11	98	17	8	123	電気情報工学を専門として新しい技術開発を行い、それを通して安全・安心、持続可能で豊かな社会に貢献する人材を、計算機工学コース、電子通信工学コース、電気電子工学コースの3つのコースを設けて育成します。
II	材料工学科 Department of Materials	P12	123	21	3	43	材料工学を専門とし、物質を構成する原子や電子の微視的な振る舞いを理解して、材料の特性が発現する原理と概念に基づいた新材料の開発により持続可能な社会の発展に寄与する人材を育成します。
	応用化学科 Department of Applied Chemistry	P13			4	58	化学を専門とし、物質の構造・性質・反応を原子・分子レベルで理解したうえで、原子・分子を設計・操作して新物質の合成や物質の変換およびプロセスの開発などを行って持続可能な社会に貢献できる人材を育成します。
	化学工学科 Department of Chemical Engineering	P14			2	31	化学工学を専門とし、環境・エネルギー、新規機能性材料、バイオテクノロジー・高度先進医療、生産プロセスなどの分野において、地球環境との調和と人類の福祉に貢献できる人材を育成します。
	融合基礎工学科 Department of Interdisciplinary Engineering	P15			2	46	物質科学と材料工学を融合した物質・材料工学分野、または機械工学と電気電子工学を融合した機械・電気電子工学分野を主たる専門とし、情報科学を副専門としながら問題解決型学習に重きを置いた教育により、環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑な課題に対応し、解決することができる工学系IT型人材を育成します。
	機械工学科 Department of Mechanical Engineering	P16			7		
	航空宇宙工学科 Department of Aeronautics and Astronautics	P17			0	21	航空宇宙工学を専門とし、力学を基礎とした工学理論や、航空宇宙機開発特有のシステム工学に関連する基礎知識を有し、新しい航空宇宙機の開発や運用環境拡大によって生ずる課題を発見・解決できる人材を育成します。
	量子物理工学科 Department of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering	P18			2	30	応用物理、量子科学、原子核工学を専門とし、新しい量子現象の観察やその応用、量子ビームの開発と医療・生命分野などへの応用、新規材料開発、エネルギー開発、環境保全等へ貢献できる人材を育成します。
IV	船舶海洋工学科 Department of Naval Architecture and Ocean Engineering	P19	92	16	5	29	船舶工学、海洋工学を専門とし、グローバルな価値観に基づいて海洋と人類の共生への貢献を目的として、造船技術の継承・発展ならびに持続的な海洋開発を担う総合工学的な広い視野を持った人材を育成します。
	地球資源システム工学科 Department of Earth Resources Engineering	P20			2	28	資源工学を専門とし、国際的に展開される地下資源の開発と供給、国内外における自然災害の防止技術の開発や地球環境への負荷を軽減する様々な技術の開発などを担う人材を育成します。
	土木工学科 Department of Civil Engineering	P21			4	62	土木工学、環境工学を専門とし、構造物の設計・施工から、環境の保全、災害の防止に関する様々な知識を有して、自然や文化に配慮しながら安全・安心な国土を整備するとともに、国土の諸問題を解決できる人材を育成します。
V	建築学科 Department of Architecture	P22	46	0	6	52	建築学を専門とし、自身の知識と思考力で課題の本質を読み解き、変化する社会情勢に応じた環境のデザイン力と理論に裏打ちされた技術・技能により都市・建築に関わる課題の解決策を導き出せる人材を育成します。
VI	—		124	23	—	147	

※上記のほか、融合基礎工学科では令和5年度より定員を20名とする編入学試験を実施しています。

入学から卒業・修了までの流れ



2024年度の選抜方法

総合型選抜：書類審査、大学入学共通テストと面接（実技）等

志望の動機や高校時代の活動および基礎学力を総合的に評価して選抜します。
この選抜のみ、学科群ではなく学科ごとに選抜します。

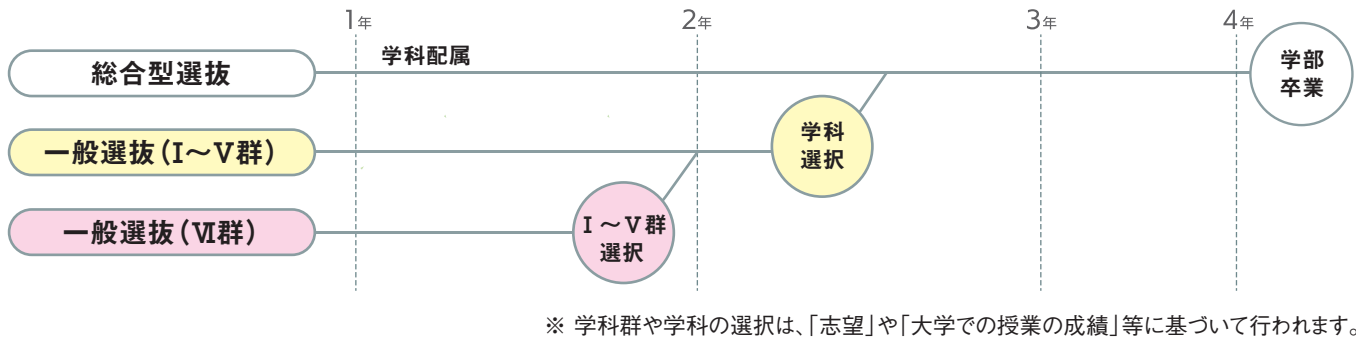
一般選抜（前期・後期）：大学入学共通テストと個別学力検査

学科群（Ⅰ～Ⅴ群）ごとの選抜

Ⅰ～Ⅴ群：専門教育で必要とされる基礎科目が共通の学科群ごとに募集・選抜します。
群を構成する学科への配属は、2年前期終了時に行います。

Ⅵ群：入学時には学科群が未定の学部一括として募集・選抜します。
1年終了時に学科群（Ⅰ～Ⅴ群）に配属し、2年前期終了時に学科を決定します。

入学後の学科決定の流れ



Ⅵ群とは

- ▶学科群（大括りの学問分野）を入学1年後に選択できる入試選抜の括りです。
- ▶より多くの正確な情報に基づいて学科群を選択することができます。
- ▶1年次はすべての学科群で「工学部共通教育科目」を履修するため、Ⅰ～Ⅴ群入学の学生に比べて学習に後れを取ることは全くありません。

Ⅵ群受験を勧めたい生徒

物理系にも電気系にも興味がある！
どちらに進もうかな...

複数の学科に関心がある人

計算科学をやってみたいし、物質のミクロな世界も学びたい！
講義を受けてみてから学科を選びたいな

将来はエネルギーの研究開発に携わりたい！そのためには、どのような分野に進んで行けばいいのかな～？

目標に向かうための進路が不明な人

理系科目が好きなので工学部でいろいろ学びたいけど、どの分野でどのようなことを学べるの？

学科や専門分野のイメージが湧かない人

工学部は分野が広くて、高校でも十分な情報を得るのが少し難しいから、まだよく分かっていないんだよね。

図書館

定期試験前には理系図書館へ

定期試験前には理系図書館を毎日のように利用します。デザインが素晴らしい中央図書館もぜひ訪れて欲しいのですが、少しこじんまりとした理系図書館が私のお気に入りです。

バーカー 舞椰さん
地球環境工学科4年

寮生活

サポートが充実した伊都協奏館

大学生活についての相談を行ったり、ミニゲームを楽しんだりできるイベントが定期的に行われるほか、門限や消灯時間が定められていないなど比較的自由なことも魅力です。

照屋 悠さん
Ⅰ群2年

サークル活動

大学から始めた合気道

合気道は、相手の力を使い相手を制す武術なので、体格で自分が劣る相手に対しても技をかけることができます。私が魅力です。私もそうですが、大学から始めやすいのも魅力です。

金子 実和さん
物質科学工学科4年

筑紫キャンパス

都心部へのアクセスが魅力

都心部へのアクセスが良いのが魅力です。JRも西鉄も通っているので通学しやすく、天神や博多に行きやすいので遊ぶのにも便利です。最寄り駅がとても近いところも好きです。

高橋 佳夏さん
エネルギー科学科4年

学内飲食施設

L-Caféは小さくて落ち着いた雰囲気

L-Caféは、学内の他の食堂とは異なっていて小さくて落ち着いた空間がとても気に入っています。またここにしかない「煮込みハンバーグ」は絶品でオススメです。

高田 侑輝さん
Ⅴ群2年

伊都キャンパス

周り切れないほど広大な敷地面積

天神・博多からのアクセスも良く、ほどよく田舎で静かなところが好き。敷地面積が単一キャンパスとしては最大級で、私も全部は周りきってはいないくらい広さがあります。

須貝 優介さん
エネルギー科学科4年

サークル活動

学年・学部を超えた絆の強さがある柔道部

学年・学部を超えた絆の強さや部内の明るい雰囲気が柔道部の最大の魅力です。母国が異なる留学生が4人いて、さまざまな文化や言語にも触れることができます。

永安 美玖さん
Ⅲ群2年

先生

専門分野への深い理解力

先生方ご自身がされている研究内容について、専門知識が少ない学生にもわかりやすく、かみ砕いた説明をしてくださり、改めて先生方の専門分野に対する深い理解力を感じます。

山崎 美果さん
Ⅰ群2年

研究室の魅力

研究に熱い情熱をかけている先生方

誘導・制御工学研究室ではドローンの研究やロケットや人工衛星といった宇宙機の軌道設計などを研究できます。実際にドローンを飛ばす実験も行うことができるのが魅力です。

宮部 司嵯さん
工学府航空宇宙工学専攻修士課程1年

国際色

コロナ規制緩和でより国際色豊かに

研究室に配属されてから留学生と関わる機会が増え、大学院での演習では共に作品を作ることも増えました。コロナ規制が解けたキャンパスは、より国際色が豊かになると思います。

古川 翔さん
人間環境学府都市共生デザイン専攻修士課程1年



WELCOME MESSAGE
先輩からのメッセージ



九州大学工学系の学部・専攻で学ぶ先輩たちが、キャンパスライフの魅力についてメッセージ。

図書館

中央図書館は多彩な利用が可能

中央図書館はとても大きく、単に本を読む、勉強をするだけではなく、コモンスペースでは友達とおしゃべりやホワイトボードを使っての勉強など多彩な使い方が可能です。

松尾 泰之介さん
物質科学工学科4年

先生

学生の「学びたい」を応援して下さる姿勢

海外での経験がある方や企業に勤めた経験のある方などが多く、その豊富な人脈に驚かされます。すべての先生方に共通するのが学生の「学びたい」を応援して下さる姿勢です。

石井 琢真さん
地球環境工学専攻修士課程1年

サークル活動

大学でもここまでできる！バスケットボール部

大学生でもここまで部活できるんだと見学に行って驚きました。選手個々がチーム内での自分の役割を毎回の練習で投げかけ、週3日の練習を充実させるように努めています。

山本 南菜美さん
物質科学工学科4年

学内飲食施設

飽きることがないCOOP Main Dining

昼夜共に日替わり定食があったり、メニューが過剰わりであったりと飽きることなく利用できるのが魅力。生協の電子マネーによってキャッシュレス会計が行えるのも良い点です。

東本 知志さん
システム情報科学府情報理工学専攻修士課程1年

国際色

サークルに多くの留学生が所属

私が所属する少林寺拳法部では、先輩、同期、後輩にそれぞれ留学生がいます。部活でコミュニティを作れると、プライベートでも国際的な気付きを得ることができます。

大矢 泰輝さん
Ⅱ群2年

サークル活動

化学研究部では知識を問わず楽しく

化学知識に乏しくても楽しく活動できますし、ある程度活動も自由に行えるところが魅力です。子供科学実験教室など、年にいくつかの大きめのイベントを実施しています。

藤本 一輝さん
Ⅲ群2年

伊都キャンパス

緑が美しく散歩でリフレッシュできる

晴れた日は緑が美しいキャンパス内を散歩してリフレッシュしています。図書館をはじめとして共用スペースがたくさんあり、空きコマや放課後に利用できる場所も魅力です。

加藤 千晶さん
Ⅴ群2年

先生

先生それぞれが研究分野に熱意

やる気のある学生に対して手厚くサポートしてくれますし、先生方はそれぞれの研究分野に熱意を持っているので、興味がなかった分野にも興味を持つきっかけがもらえます。

碓井 和佳奈さん
Ⅴ群2年

研究室の魅力

医療分野に役立つロボット開発も

先端医療デバイス研究室では、3Dプリンターを扱い実際にものを製作して性能を評価することができます。各種ロボットなど医療分野での役に立つ研究ができるのが魅力です。

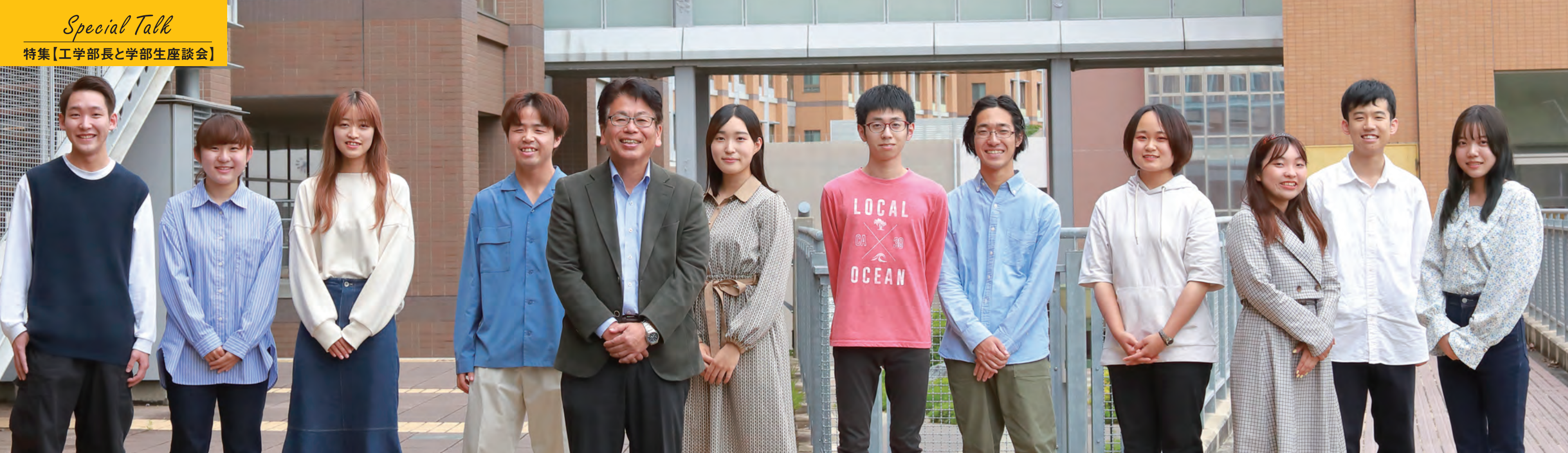
菊池 利久さん
機械工学科4年

自慢の施設

模型試験を実施できる国内唯一の試験水槽

船舶運動性能試験水槽は、コンピュータで行ったシミュレーション計算結果を確認することができます。各種ロボットなど医療分野での役に立つ研究ができるのが魅力です。

梅本 航汰さん
地球環境工学科4年



先輩が語る群入試

九州大学工学部が実施している6つの群区分による一般選抜入試。

学科を決めて受験する総合型選抜を含め、先輩方が自らの入試経験を振り返ります。



聞き手

九州大学大学院工学研究院長
大学院工学府長・工学部長

山本 元司

九州大学工学部を受験する際の群や学科を選んだ理由

山本：まずは皆さんが九州大学工学部を受験するにあたって、どのような点に注目して現在の群や学部を選んだのかを教えてください。

照屋：私は中学校、高校の授業でプログラミングの楽しさを学びました。Ⅰ群はプログラミングやその基本となるアルゴリズム論を学べる計算機工学コースに進むことができると知って受験しようと思いました。

綿谷：私は高校の授業で有機化学に興味を持って、物質科学がメインのⅡ群を選びました。特に高分子関係は身近な材料に使われているので、それを学んでいきたいと思っています。

永安：私は総合型選抜で受験したのですが、融合基礎工学科は新しくできた学科と

いうことで興味を持ちました。1つの分野ではなくいろいろな分野を総合的に学べる点とデータ解析のプログラミングも学べる点で選びました。

坂入：私は資源に興味があったのですが、資源の研究を行っている総合大学になると北海道大学と秋田大学、九州大学くらいはなく、その中でも九州大学は資源のリサイクルに強くて資源の分野では世界的に見て研究の実績があると知って選びました。

高田：私は総合型選抜で建築学科を選びました。理由の1つとして、九州大学の建築学科の研究室が行っている熊本地震復興支援に関わるプロジェクトの存在を知ったことがあります。私の出身地である広島でも豪雨被害などがあって、もともと被災地復興に興味がありました。その研究室では1/1スケールで実際に建物を作るという他の大学にはないこともやっているなど、アウトプットする機

会が多いことに魅力を感じました。

藤本：工学部に入りましたが、大学を受験するにあたっては工学部以外に農学部や理学部も選択肢に入れて悩んでいて、ちゃんとわかっていない段階で決めてしまうのも違うなと思っていました。Ⅵ群であれば基礎を学びながら1年間選択を保留できるとあって、Ⅵ群に決めました。

山本：Ⅵ群は、学部の意図としても「入ってからじっくり考えてください」という考えがあるわけですが、実際には入るのにセレクションがあって、2年目の群配属でまたセレクションがあるという厳しさがありますが、その点はいかがですか。

藤本：それほど厳しいとは思わなかったです。（新配属の）群を選ぶときにネットとかを使って自分で学科の内容を調べるにも限界があるので、Ⅵ群で研究室の紹介イベントを用意してくれたのはありがたかったですね。

山本：総合型選抜以外の皆さんは2年の後半から学科やコースの希望を決めることとなりますが、実際に希望する学科・コースをどのように決めたのか、どうしてそれを希望するのかを教えてください。

山崎：Ⅰ群は電気情報工学科1つなので、2年生に上がる段階でコース分けがあります。情報系の計算機工学コース、通信系の電子

通信工学コース、電気系の電気電子工学コースのうち、自分はどれをやりたいのか悩みました。今でも情報に興味はありますが、1年生の前期に研究室を回る機会があって通信の研究室ですでに6Gのことを研究していたりするのを見て、通信系をやってみたいなと思いました。

山本：私も長年ロボットの研究をしています。通信工学もロボットには欠かせない要素です。私は通信の最先端にはついていけません（笑）、ぜひおもしろい研究に挑戦してくださいね。

大矢：現在は応用化学科の機能物質化学コースを希望しています。理由は、化学が好きで特に有機化学に興味があるからです。しかし、今、授業で受けている工学概論や実験の安全性を考える安全学で各学科・コースの紹介を聞く機会も多く、どれもおもしろそうだなと思ってはしっかりと決め切れていないというのが正直なところです。

井上：Ⅲ群は機械工学科と航空宇宙工学科と量子物理工学科がありますが、僕は受験時にはどのコースに行きたいというのはありませんでした。1年間学んできて、いろいろな先生方や先輩方の話を聞いて、今は航空宇宙工学科に行きたいなと思っています。小さい頃から飛行機が好きだったので、空を飛ぶモノを作ったりジェットエンジンの設計に

関われたらなと思っています。

坂入：私は地球資源システム工学科に行きたくて九州大学に来ました。言い方は悪いかもしれませんが、資源は稼げそうだな、と（笑）。今、SDGsとか叫ばれていますが、エネルギーを使うには資源が必要ですから効率的な資源の使い方を考えたいですし、地球資源システム工学科の研究室では資源リサイクルの研究を行っているの、そういった方向を希望しています。

学科指定の総合型選抜を選んで受験した理由

山本：では続いて、最初から学科を希望して総合型選抜で受験した方に、その学科を選んだ理由を教えてください。

永安：さまざまな分野を総合的に学べるということで融合基礎工学科を選びましたが、学科の研究室には航空機のエンジンの実験を行っているところもあり、私は高校の時に燃料の燃焼に関する研究や実験をやったこともあったので、それが生かせればいいなと思いました。Ⅲ群は入った後も大変で、学科選択の際のGPA（成績評価制度）の位置とかも関係するので、先に学科を選べていれば少しはゆとりを持っているいろいろなことに挑戦できるかなと思いました。



一般選抜(I群)2年
山崎 美果さん(福岡県朝倉高等学校出身)



一般選抜(I群)2年
照屋 悠さん(福岡県明善高等学校出身)



一般選抜(VI群→II群)2年
大矢 泰輝さん(岐阜県多治見北高等学校出身)



一般選抜(II群)2年
綿谷 佳音さん(三重県四日市高等学校出身)



一般選抜(III群)2年
井上 径尚さん(福岡県修猷館高等学校出身)



総合型選抜(III群)2年
永安 美玖さん(広島県広島中等教育学校出身)
※総合型選抜で融合基礎工学科を受験

碓井:建築学科を選んだ理由としては、小さい頃からモノづくりに興味があって気づいたら建築学科に行こうと決めていました。ただ、入試準備をするにあたってデザインをやりたいのか、構造をやりたいのか、設備をやりたいのかが決められず、九州大学の建築学科ならどの分野も学べるとして選びました。総合型選抜にしたのは持病があった中学・高校にほとんど通えず、学力面だけでは不安があったからです。学校に行けなかった間にイラストやスケッチ、モデリングをやっていたので、総合型選抜なら建築に対する思いと養った画力や企画力を生かせるだろうと思いました。

山本:九州大学の建築系には芸術工学部の環境設計学科もありますが、どうして工学部の建築学科にしたのですか。

碓井:芸術工学部も少し考えましたが、入試の段階では構造系への興味が強かったので工学部の方を選びました。

高田:昔からモノづくりが好きで、子どもの頃からレゴブロックで家を作っていました。高校生の時の英語の授業である建築家のことを取り上げていて、震災復興の仮設住宅を設計している話がありました。建築家として震災復興に関われたらいいなと思い、九州大学には熊本地震復興支援に関わるプロジェクトがあることも知って建築学科を選びました。

VI群で入学して1年。 新たな群選択の決め手

山本:それではVI群で入試を受けた方にお聞きします。1年修了時に現在の群を選んだ理由を教えてください。

藤本:私は群選択でIII群を選びましたが、最後までII群とどちらにするか迷いました。もともと水素に興味があったこと、どちらかといえば化学よりも物理が好きだったのでIII群にしました。もう1回選り直せるとしたら、また迷ってしまうと思います(笑)。

加藤:私はモノづくりとか設計に興味があったので、機械系か航空宇宙系、建築系で迷いました。高校生の時のフィールドワークで建築に関する研究をしていたこともあって、大学でもそれを続けられたらと思って建築学科のV群を選びました。先ほど、高田君が言っていたように人間環境学府に進めることもあって、人間の心理や文化・環境面を

考慮して設計することが求められる建築学の奥深さにも興味を持ちました。

大矢:一番大きいのは化学が好きということです。自分は入学時にI群、II群、III群で悩んでいて、I群のプログラミング系もかっこいいなと思っていましたし、III群の宇宙系にも興味がありました。実際に入学して1年間活動してみると、授業以外でもいろいろなことに挑戦できるなと思いました。宇宙系ならPLANET-Qというサークルでロケットのことを勉強できるし、大学生なら自分の時間を調整してプログラミングにも挑戦できる。そう考えるとコースを決めたらそれしかできないという固定観念が少し和らいで、群選択では自分が好きなことをやりたいと思ってII群の化学系に決めました。

山本:大学に入った後でも学科やコースを決めた後でも、好きなことを学ぶチャンスはいっぱいあるので、ぜひチャレンジしてほしいと思います。

九州大学工学部を目指す人へ 先輩方からのアドバイス

山本:受験生が興味を持つと思われる受験勉強関係の話題にも触れておきましょう。みなさんが九州大学工学部を目指して、どのような勉強をしてきたのか教えてください。

照屋:個別試験での配点は理系科目が中心なので、理系科目を重視して勉強しました。定期テスト前に学校で使われていた問題集を繰り返し解いて基礎を身につけました。わからない問題に出会ったら、わからない原因をしっかりと突き止めて問題を解く努力をしてきました。難しい問題は基本問題の積み重ねですから、まずは基本をしっかり身につけることが大切だと思います。

綿谷:私は高2の秋まで部活をやっていて、そこから受験勉強を始めました。共通模試ごとに目標を立てて結果を見てできなかった部分を分析して復習してきました。授業を聞いているだけでは解けないことも多くて、演習を多くすることを意識してきました。

井上:僕は塾にも行っていたので、学校の授業で習ったことや演習を放課後にしっかりと復習して、それから塾に行くということを繰り返してきました。大学受験の難しい問題はひらめきで解けるような人間ではないので、一度やった問題は間違わないようにしようと思って復習に力を入れてやってきました。

坂入:私は一浪して入ったのですが個別試験の対策に重きを置きました。

山本:入試の問題、特に個別試験の問題は「こういうことを勉強して九州大学に入ってきてほしい」という我々の意思表示でもあります。

加藤:高校生の時は3年の夏まで部活をやっていて、文化祭とかに関わったこともあって結果的に浪人してしまいました。量をこなすためには、1週間を1つの区切りに月曜から土曜までやることを決めて、やり残したことや理解が足りない単元を日曜にやっていました。そうした毎日の積み重ねを大事にしました。

藤本:高校の先生がすごく丁寧な先生ばかりで課題のプリントばかりやっていました。試験に関係ない部分、例えば発見した学者の苦労話を調べてモチベーションにするとか、模範解答を自分の解答と比べて模範解答の方がスマートだったら「賢い、賢い」と褒めたりしていました。

山本:では、九州大学工学部を目指す高校生の皆さんに勉強以外のアドバイスなどがあれば教えてください。

山崎:どの大学を受験しようかと考える時に、日本全国の大学のホームページを見て研究室の内容を重視しました。大学に入る前から「自分はこういう勉強がしたい」と決まっているのであれば「この先生のもとで勉強したい」と思えるくらいに細かく調べてみるのもいいと思います。

大矢:群選りを選びをしっかりと考えることが大事だと思います。自分も一浪しているのですが、高校在学中に模試のコードが急に学科から群になって「なんだこれ?」と思いました。当

時はこれほど化学が好きになるとは思ってもいなくて、漠然と機械航空系に行こうと現役時は後期でIII群を受け、入学するか迷いましたがもう1年勉強を頑張ると決め、その後VI群のことを知りました。VI群に入ったことで、今こうして化学中心のII群という選択肢にいられているので、群についてしっかり調べることをお勧めしたいです。

井上:僕は高1の時から漠然とはありますが「III群がいいな」と思っていたので、それに向けて勉強することができました。早い段階からホームページをしっかりと見て、自分がやりたいことを決めることが大事だと思います。

碓井:山崎さんが言ったように、私は建築学科を受けるにあたって研究室のことをかなり調べて「この先生のこの研究はおもしろそうだな」というのをいくつかピックアップしました。研究室や行きたい先をある程度考えておくというのはモチベーションにも繋がると思います。

藤本:入試には必ず選択が必要ですが、選択した後は後悔がついてくと思うし、選択に悩んでいる人ほど後悔は出てくと思います。でも「選択を間違ったかな」という後悔に引っ張られるのは良くないと思います。僕はVI群に入って、2年目の群選択でI群からV群までずいぶんと悩みました。5つの選択肢から1つを選ぶと4つを捨てることになるので後悔が出てくるのは当然のこと。でも、後悔に引っ張られることがないように自分が選んだ道に自信を持てばいいと思います。

山本:皆さんのお話は九州大学工学部を目指す高校生にとってきっと有意義なものになったと思います。



一般選抜(IV群)2年
坂入 菜さん(北海道札幌西高等学校出身)



総合型選抜(V群)2年
高田 侑輝さん(広島県広島高等学校出身)
※総合型選抜で建築学科を受験



総合型選抜(V群)2年
碓井 和佳奈さん(香川県坂出高等学校出身)
※総合型選抜で建築学科を受験



一般選抜(VI群→III群)2年
藤本 一輝さん(福岡県福岡高等学校出身)



一般選抜(VI群→V群)2年
加藤 千晶さん(愛知県旭丘高等学校出身)

この座談会のロングバージョンは、
工学部ホームページにも掲載しています。



学生が紹介する動画サイトもあるよ!





https://www.eecs.kyushu-u.ac.jp

電気情報工学科

Department of Electrical Engineering and Computer Science

●この学科のキーワード

人工知能
データサイエンス
量子コンピューティング

論理と物理を基に、賢さ、快適さ、速さ、強さ、安全安心を創る技術者と研究者の入口



この学科のポイント！

私たちは、現在、人工知能と人間が共創する新たなデジタル社会の創出に向かって突き進んでいます。未来の社会では、人工知能、メタバース、ロボティクス、量子コンピューティング、スマートモビリティなどの魅力的な技術が融合した新たな生活様式を提供していることでしょう。電気情報工学科では、これらの技術の基礎となる、計算機、通信ネットワーク、電子材料・デバイス、電気エネルギーについて学びます。電気情報工学科では、数学、物理、データサイエンスの基礎を修得した後、計算機工学、電子通信工学、電気電子工学の3コースに分かれてそれぞれの専門性を深めて行きます。皆さんも電気情報工学科で学び、未来への扉を開いてみませんか。



私の研究内容 ソフトウェア工学・ プログラミング言語研究室

東本 知志さん
システム情報科学府情報理工学専攻
修士課程1年
大分県高田高等学校出身

計算機工学コースではソフトウェアのみならずハードウェアについても学ぶことができ、コンピュータの構成要素を幅広く学習できる点が魅力です。
現在はソフトウェアリポジトリマイニングという研究を行っています。ソフトウェアリポジトリマイニングとは、ソフトウェアの開発履歴データなどを対象に分析を行い、ソフトウェア開発における有用な知見を得ることを目的とする研究分野です。例としてプログラムのどこにバグが存在するかを突き止める研究というのがあります。当然の結果が得られることもあれば、思いもよらない結果が得られることもあり、とても面白いです。



https://www.zaiko.kyushu-u.ac.jp

材料工学科

Department of Materials

●この学科のキーワード

マテリアルデザイン

エネルギー

脱炭素

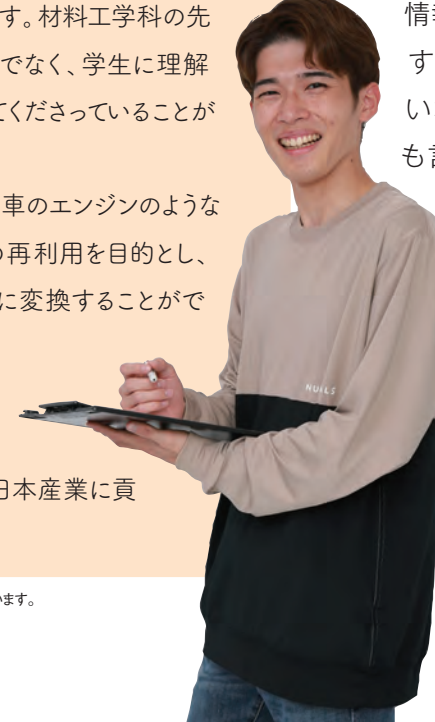
物質を理解して原料を精製・加工し、性質を解明するとともに機能を引き出した無機材料を作り出す技術者と研究者の入口



金属3Dプリンタにおける凝固組織形成機構および欠陥形成メカニズムの解明とそれによる高機能部材の実現

この学科のポイント！

これまでの文明の発展は材料の進化に先導されてきました。例えば、自動車社会は鉄鋼材料の大量生産に、航空機による高速輸送はジュラルミンの発明に、情報化社会は半導体の発明に、といった具合です。周期表には118個の元素しか掲載されていないにもかかわらず、これらの元素の無限とも言える組み合わせから、様々な性質をもった新材料が創り出されています。単に混ぜ合わせるだけでは無く、加熱、冷却、加工など様々な工程で新たな機能を附加しています。材料工学科では、このように身の回りにあるあらゆる「モノ」のもととなる材料や素材を創り出すための基盤を学び、モノ(材料)づくりを通して社会に貢献できるのが大きな魅力です。



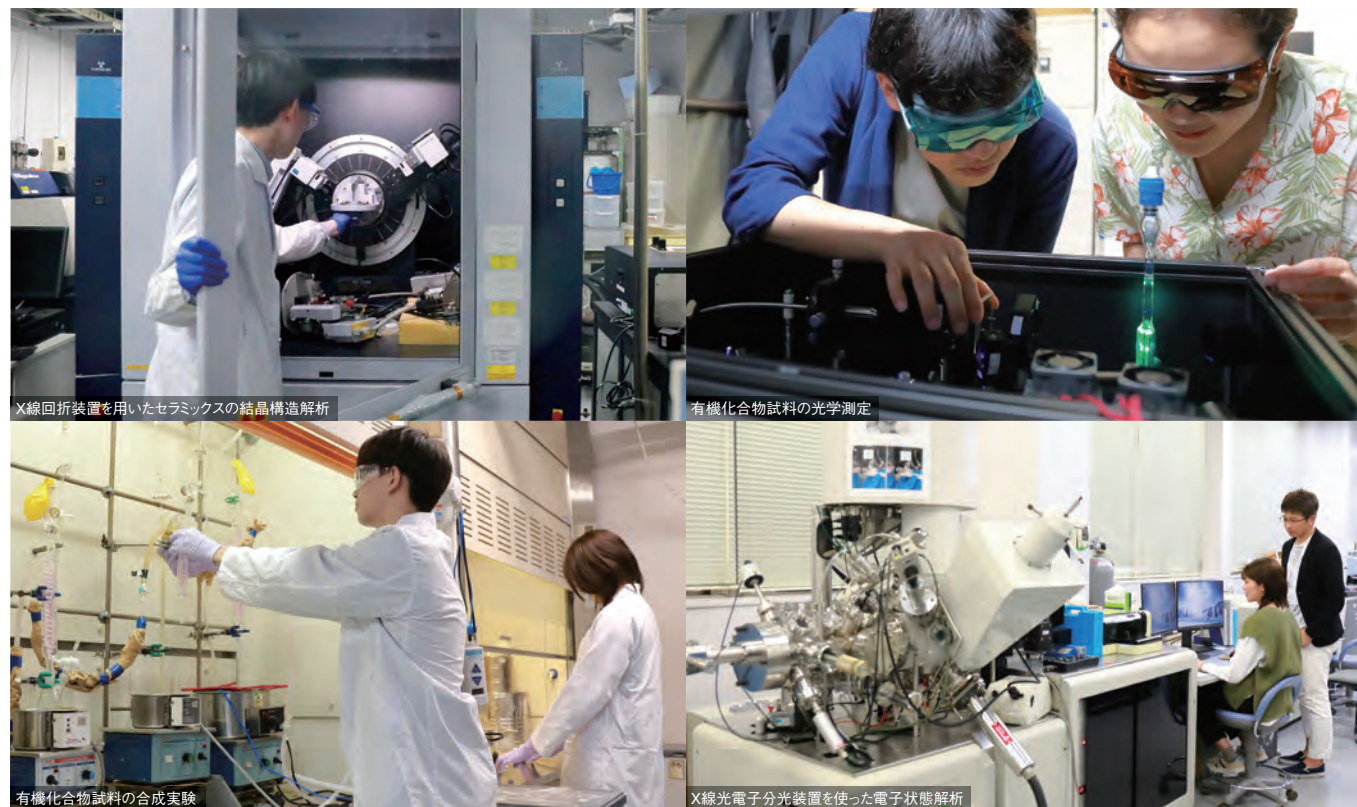
私の研究内容 機能材料工学研究室

松尾 泰之介さん
物質科学工学科4年
福岡県福岡大学附属大濠高等学校出身

材料工学は化学、物理、数学を合わせたような分野であり、モノづくりの基盤となる学問です。材料工学科の先生方はとても熱心で、楽しいだけでなく、学生に理解してほしいと考えながら授業をしてくださっていることが伝わります。
現在所属している研究室では、車のエンジンのような内燃機関から捨てられる排熱の再利用を目的とし、熱エネルギーを電気エネルギーに変換することができる熱電材料を研究しています。
将来的には、日本国内でもっと半導体を作ることができるよう、今学んでいることを活かして日本産業に貢献できればと考えています。

※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

化学で人々の暮らしを豊かにし、 持続可能な社会の構築に資する学問を追究します



この学科のポイント！

応用化学は物質を自在に設計し、新しい機能と価値を創造する学問です。様々な分野と融合しながら、社会を支える学問として益々発展しています。本学科は機能物質化学コースと分子生命工学コースで構成されており、化学の分野を網羅する基礎科目に加えて、世界トップクラスの研究成果を生み出す教育・研究環境を整え、充実したカリキュラムを用意しています。機能物質化学コースでは主に高分子材料・無機材料を用いる触媒材料、複合素材、エレクトロニクス、ナノデバイスおよびそれらを支える理論解析を研究し、分子生命工学コースでは分子触媒、分子集積材料、エネルギー変換材料やバイオ医用材料、ヘルステクノロジーを研究しています。



私の研究内容

有機光エレクトロニクス研究室

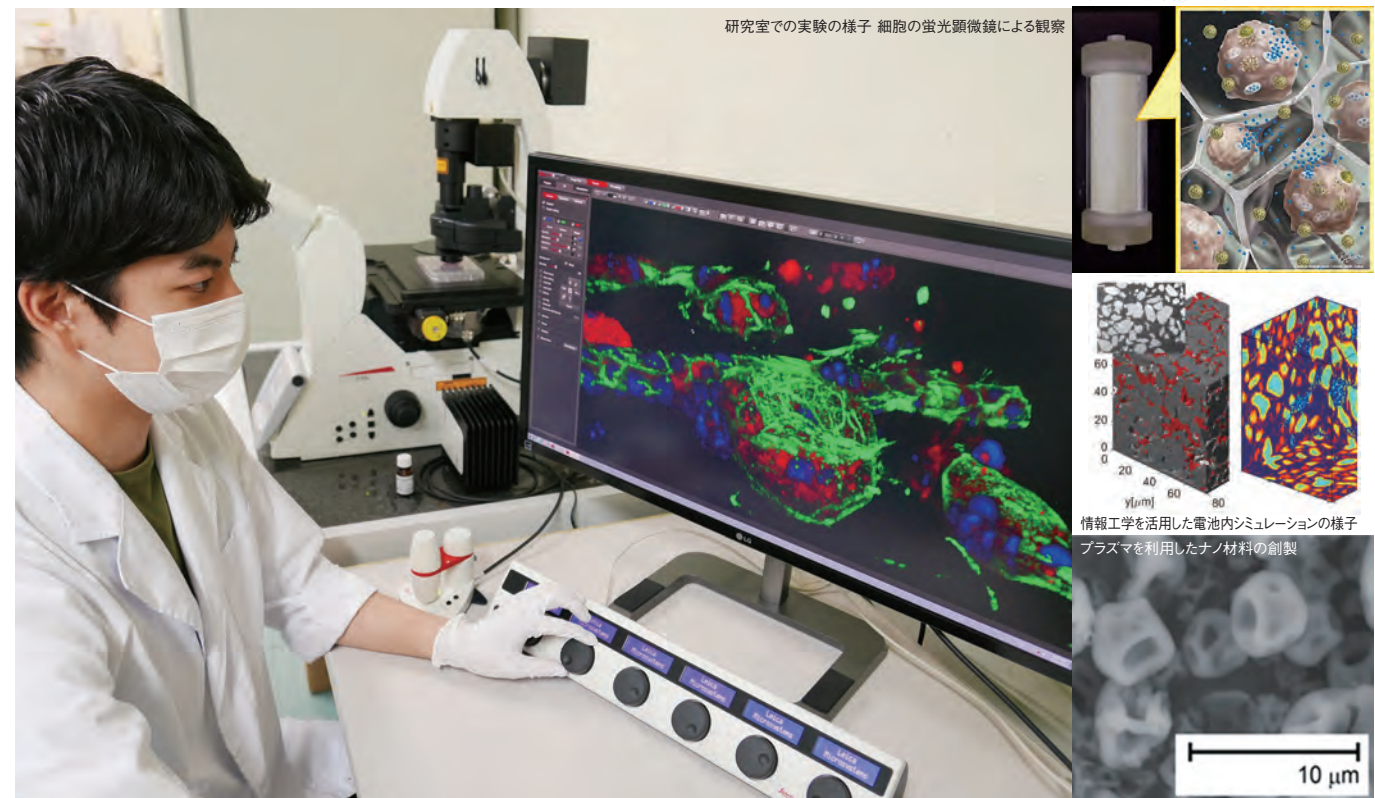
金子 実和さん
物質科学工学科 4 年
福岡県筑紫女学園高等学校出身

フォトダイオードは、リモートコントロールや自動車のセンシング技術に用いられており、光を電気に変換する役割を持っています。私が研究しているのは、この中でも眼に見えない近赤外領域の光を感知できるフォトダイオードです。

自動車の自動運転の実現にむけてこのようなフォトダイオードは重要になってきていますが、現存のものは無機材料でできており、環境への影響や製造プロセスの複雑さといった課題を抱えています。そこで、私は有機材料を用いることで、これらの問題を解決でき、さらに私たちの日常生活への応用の幅を広げられるようなフォトダイオードの作成を目指しています。

※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

新材料 新現象を社会で実現化する力



この学科のポイント！

化学工学は、基礎研究を実社会で実用化するために欠かせない学問です。バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、環境、エネルギー、宇宙技術などの幅広い分野の発展に力を発揮しています。生命工学分野では、遺伝子工学を活かしたバイオ医薬品生産や再生医学工学技術の開発など、工学的なバイオテクノロジーが展開されています。環境分野では、プラズマを用いた廃棄物処理技術、燃料電池、二酸化炭素分離など、実社会の問題を解決する先端研究が進められています。情報工学を活用し、化学プロセスをシミュレーションによって高性能化する研究も行われています。本学科では、様々な課題に適用できる化学工学の基礎を学べることが最大の魅力です。

私の研究内容

生物化学工学研究室

山本 南菜美さん
物質科学工学科 4 年
熊本県熊本高等専門学校出身

AIによる深層学習技術を用いた顕微鏡位相差画像から簡易的でハイスループットの筋管の評価法の開発を試みています。骨格筋は人の生命維持において重要な役割を果たしていますが、重篤な筋疾患に対して根治できるほどの有効な治療法は確立されていないため、再生医療、薬剤スクリーニングに向けた骨格筋の評価システムを構築することが求められています。筋管の機能評価では電極からの電気刺激などを利用して収縮活性を評価されてきましたが、最終的に収縮機能を測定する必要があり手間と時間を多く要します。本研究ではいくつかの観点でAIに学習させることで筋管の機能を顕微鏡位相差画像のみで評価しようとしています。

※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。



“工学系分野の融合”×“情報科学”を基軸とし、
広い視野と実践的な行動力をもったAI時代のリーダーを創出



この学科のポイント！

私たちが直面している現代社会の諸課題（例：グローバルな環境・エネルギー問題）は多種多様に複雑です。それらの解決には、1つの専門分野ではなく、複数の専門分野を融合し、さらに情報科学を活用することで、新しい概念、アイデア、イノベーションを生み出せるリーダーが求められています。本学科の特徴は、複数の工学系分野を「融合」した学びにあります。物質科学と材料工学を融合した「物質材料コース」(Ⅱ群)と機械工学と電気電子工学を融合した「機械電気コース」(Ⅲ群)の2つのコースを有し、最新のAIやデータ科学も駆使しながら、問題解決型のアプローチにより、持続可能な未来社会の実現に向けた課題に果敢に挑戦しています。



私の研究内容

宇宙流体環境学研究室

高橋 佳夏さん
エネルギー科学科4年
神奈川県洗足学園高等学校出身

この学科で身についたことは、次々と変化していく物事に柔軟に対応する応用力や、一つの問題を多面的に考える力の土台になります。これらは科学技術に携わる人に必要な力だと思います。私たちの研究室では、宇宙の中の地球環境という視点で研究をしています。宇宙は真空ではなく、プラズマという電気を通す流体で満たされています。宇宙プラズマの性質の理解を通じて、宇宙のさまざまな高エネルギー現象を解明することを目指しています。将来は、今の研究室で学んでいることを活かしながら航空機に関わるような仕事に就きたいと考えています。

※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

あらゆるアイデアや技術を
形あるものにする機械技術者と研究者の入口



この学科のポイント！

機械工学は、スマートフォン、コンピュータ、家電製品、空調機、自動車、飛行機などの身近なモノ、ロボット、医療器械、建設機械、工作機械、食品機械など専門分野で活躍するモノ、発電所や燃料電池などエネルギーを供給するためのモノやシステム、使われている部品や素材など、あらゆるモノを作るための基盤となる学問です。具体的には材料力学、機械力学、流体力学、熱力学、燃焼、設計法、制御、加工技術などの基礎知識と概念を学修します。さらに、生体工学や水素利用技術など、生物・医療やエネルギー・材料など従来の枠を越えた分野も学ぶことができ、新しい時代を自ら切り拓くことのできる技術者や研究者の基礎を築くことができます。

私の研究内容

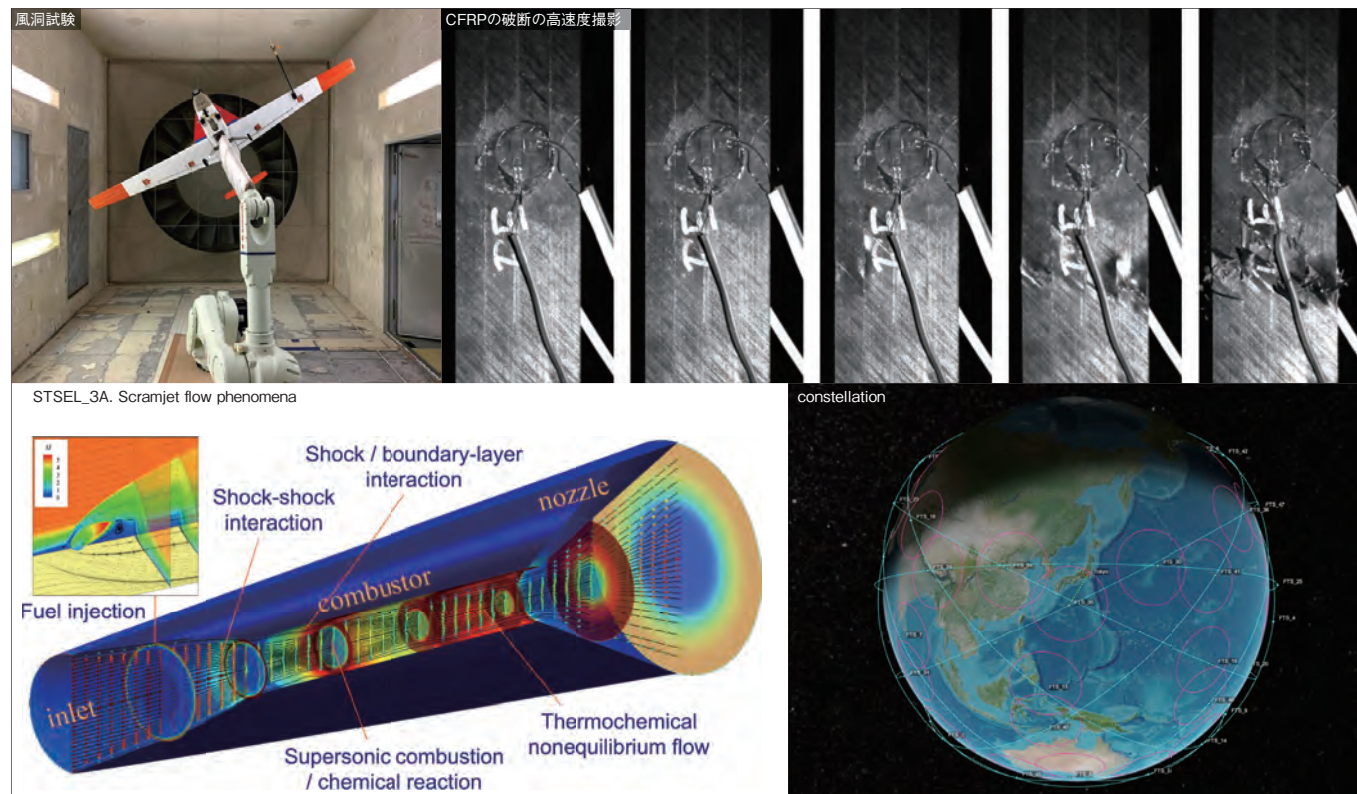
先端医療デバイス研究室

菊池 利久さん
機械工学科4年
愛媛県新田青雲中等教育学校出身

ロボット工学などの「ものづくり」の技術を医療分野に応用するための研究開発を行っています。ロボットの動きや力の伝達を可能にするメカニズム、脳から筋肉に送る微弱な信号を正確に読み取るセンサ、読み取った情報を分別整理するプログラムなどのさまざまな知識と技術を統合し、これまでにないリハビリテーションロボットや手術ロボットを開発することで医療の発展に貢献しています。私の持っている知識やアイデアを活かした「ものづくり」を通して、一人でも多くの人の役に立つような研究開発を生涯続けていきたいと考えています。



最先端の知識と技術を結集し、
空と宇宙のフロンティアを切り拓く夢へ踏み出す第一歩



この学科のポイント！

日本の航空宇宙開発は近年急速に進展しており、はやぶさ1・2号機による小惑星探査は記憶に新しく、次期基幹ロケットH3や月や火星を目指す深宇宙ミッションも進行しています。また、超音速旅客機や電動航空機といった次世代モビリティの開発も活発に進められています。

本学科は、日本人初の国際宇宙ステーション船長となった宇宙飛行士の若田光一さんをはじめ、宇宙開発や航空産業の第一線で活躍する人材を数多く輩出しています。また、JAXAや企業、海外との共同研究も盛んに行っており、研究者・技術者としての道を踏み出すには最適の場所です。皆さんも航空宇宙工学科で学び、空や宇宙の夢を追求し、現実に変えてみませんか？



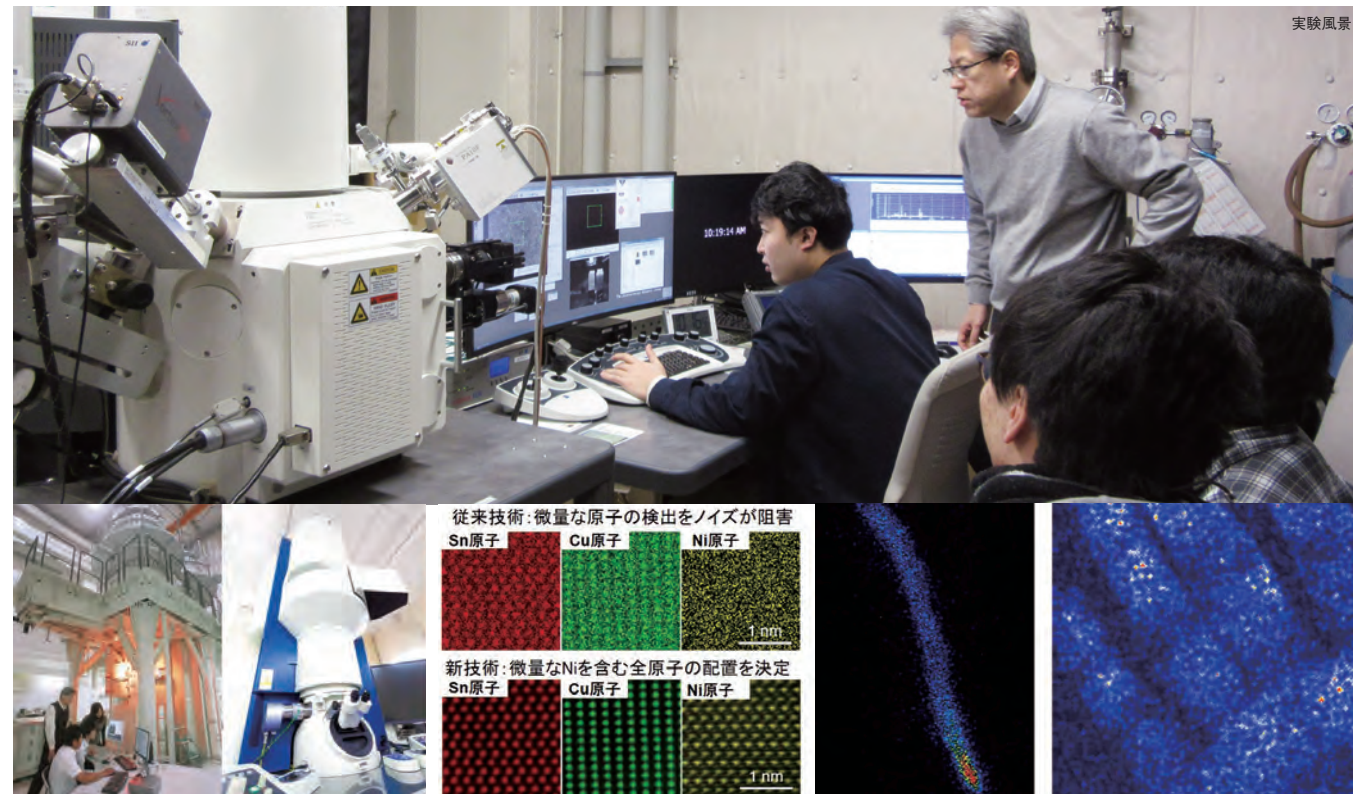
私の研究内容 誘導・制御工学研究室

宮部 司嵯さん
工学府航空宇宙工学専攻 修士課程1年
長崎県長崎西高等学校出身

近年さまざまな用途に用いられるドローンが開発され、宇宙ビジネスは注目を集めています。航空宇宙工学科は、この発展著しい航空宇宙分野へ貢献できる機会を得られる点が大きな魅力です。

研究室では、機械学習や数値解析を用いて、ドローンや人工衛星、ロケット、探査ローバー等について、位置や姿勢、軌道の制御、宇宙ミッションの設計、新しい制御手法の研究を行っています。加えて理論を検証する実験では、3Dプリンタを利用して実際にドローンを作成し飛行実験を行っています。将来は、チルトローター機などの新しい航空機に関する機体レイアウトの設計に携わりたいと考えています。

目に見えないミクロな物理現象の解明と応用で、
人類社会の発展に貢献する技術者と研究者の入口



超高圧電子顕微鏡と世界最高水準の計測感度をもった分析電子顕微鏡

超々高感度カメラで撮影した細胞呼吸の副産物として生じた活性酸素分子から放出された光量子(植物根と人の掌)

この学科のポイント！

近代物理学の新しい学問体系である量子力学と相対性理論の出現はそれまでの物質や時間・空間に対する認識を一新させました。これにより原子核、原子、分子、電子などのミクロな実体から、その集合体である物質、さらには宇宙という巨大な世界までを体系的に理解できるようになりました。

量子物理工学科では量子力学や相対性理論とともに力学、電磁気学、熱力学、統計力学などの現代物理学を構成する基礎的学問を系統的に学修します。その上で応用物理学、量子ビーム、加速器工学、原子核/原子核工学などについても学んでいき、新しい時代の科学と工学を自ら切り拓いていく力強い技術者や研究者を育成します。

私の研究内容 量子線物理計測研究室

須貝 優介さん
エネルギー科学科 4年
千葉県市川高等学校出身

量子線（エックス線、ガンマ線、中性子線など）は原子核工学、素粒子、物質科学、生物学、医学、考古学など、さまざまな分野で利用されています。これらの分野で量子線を高度に利用するため、物質を通過する量子線の振舞いを計測・シミュレーションする研究や、超伝導現象を利用した新しい検出器の開発などを行っています。自分の研究テーマは臭化タリウム(TlBr)を用いたγ線検出器の開発で、冷却設備の付属を必要とするゲルマニウム半導体検出器と比べて高い検出効率、室温でも動作が可能といった利点があります。電極構造、信号処理などの問題を解決することで、より大型のTlBr検出器が実現可能になります。



※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

持続的な海洋開発を担い、
海と人類の共生に貢献できる技術者・研究者への扉



この学科のポイント！

国土を海に囲まれた日本の発展には、社会・生活を支えるエネルギー・資源の調達や輸出のための海上輸送、資源開発など海洋の有効利用が必要です。本学科は構造・流体・材料・制御等の基礎的な分野だけでなく、巨大な船や海洋構造物を開発・設計・生産する総合工学を学ぶ特色あるカリキュラムを有します。

実地で学ぶ工場の見学・実習、船一隻を設計する演習など多面的に学びます。コンピュータを使ったプログラミング・シミュレーション・設計・AIなどIT教育も豊富です。

卒業生への評価は高く、求人数は多く、輸送機器・重工業の他、多様な企業や研究機関に就職しています。多くの学生が大学院に進学し、高度な勉学と研究に励んでいます。



私の研究内容

船舶海洋運動制御工学研究室

梅本 航汰さん
地球環境工学科4年
福岡県城南高等学校出身

船舶の安全航行に必要な運動性能は船舶の種類や船体形状によって大きく異なります。また、航行海域の環境や風や波等の外乱にも大きな影響を受けます。私の所属する研究室では、さまざまな環境条件下において船舶を安全に運航し、海難事故による人命の損失や地球環境の汚染を防止することに焦点を当て、流体力学や制御工学を基礎とする理論計算ならびに大型試験水槽において実施する模型試験に基づいて船舶や浮体構造物の流体力学的特性と運動性能の推定法を確立する研究を行っています。それらを応用することにより、周囲の環境条件に基づいて運動を適切に制御し、自律航行する船舶の開発を目指しています。

※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

地球規模の資源・エネルギー・環境問題の解決に向けて
世界トップレベルの教育・研究拠点で学ぶ



この学科のポイント！

地球資源システム工学科では、金属鉱物、石油・天然ガス、石炭、地熱など、私たちの生活を支える資源の成因、探査、開発、採掘、処理、リサイクルを幅広く学び、それらの新技術を研究できます。また、CO₂回収・利用・地中貯留や石炭/石油からのブルー水素製造技術、さらには深海底(メタンハイドレートやレアメタル)および月や火星(水やレゴリス)など、人類のフロンティアにおける資源探査・開発技術も研究できます。3年次の国内外インターンシップでは、スケールの大きな資源開発の醍醐味を体感できます。留学生との交流や海外でのフィールドワークなどを通じて言語力や国際性を伸ばし、世界で活躍するための素養を身に付けられます。

私の研究内容

エネルギー資源工学研究室

石井 琢真さん
工学府地球環境工学専攻 修士課程1年
福岡県筑紫高等学校出身

月や火星にある資源の開発に関する研究をしています。資源を開発するには地面に穴を掘る必要がありますが、その際、地球では砕かれた岩石などを除去するためにいくつかの薬剤を混ぜた水を用いています。月や火星では水の利用が制限されると考えられ、重力が小さい分、ドリルを地面に押さえつける力が小さくなって掘る力が弱まってしまいます。それに加えて、地球より機械を動かすためのエネルギーを得るのが難しいと考えられます。このような課題がある中で、より効率的に月面や火星面を掘る方法を考える研究をしています。将来は大学で学んだことを少しでも活かせるよう、資源に関わる職に就きたいと考えています。



※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

地図と歴史に残る仕事
安全・安心・幸福(Well-being)な暮らし
グリーンインフラ

サステナブルで豊かな国土や都市を構築するための技術を学ぶ



この学科のポイント！

土木工学(Civil Engineering)は、私たちが安全・安心で幸福(Well-being)な暮らしを営むために不可欠な、都市、道路、橋、堤防、上下水道、鉄道、港などの国土基盤を整備・保全するための幅広い学問です。土木技術は人類の歴史とともに発展してきました。激甚化する災害への備え、グリーンインフラを活用した都市と自然の調和、ビッグデータの活用や自動運転社会への対応など、新しい技術を取り入れ、50年、100年後の未来を見据えた持続的で豊かな国土や都市の構築を目指しています。

環境・社会・経済の問題が山積した変化の激しい現代社会で、幅広い技術力と多様なアイデアを結びつけ、市民の暮らしを豊かにできる土木技術者が必要とされています。

私の研究内容 地盤工学研究室

パーカー 舞柳さん
地球環境工学科4年
福岡県宗像高等学校出身

最近自然災害が増えてきていることもあり、工学の力で地球をより良い場所にする勉強をしたいと思い、この学科に入りました。

私が所属している建設都市工学コースでは主に土木の勉強をしています。このコースでは5メートルほどの橋を自分たちで設計して作ったり、コンクリートを壊す実験を行ったりと大規模な授業が多いのが特徴です。また、まちづくりの授業では実際に福岡県直方市に行き、先生や地域の役員、地域に住んでいる方などとともに地域活性化のための活動を行います。キャンパス内だけにとどまらず、現地に出向いて地域の方々と交流する機会があるという点もこのコースの魅力です。

※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

都市建築デザイン
SDGs
防災・減災

住宅から都市に至る人間の多様な生活に密着した空間を造り出す建築家や技術者、研究者を養成します。



この学科のポイント！

建築学は技術的問題から社会的・文化的問題まで広い領域に関わっており、建築・都市の分野に携わる者には、多様な要素を総合的にまとめる能力に加えて、芸術的な造形能力が求められます。建築学科では、建築・都市の文化と歴史を顧み、建築・都市を理論的に計画し、具体的な形に設計する方法、快適で健康的な空間をつくる環境技術、丈夫な建物をつくる構造技術、建築の材料と施工技術などについて研究と教育を行っています。

本学科のカリキュラムは、建築学に関わる諸知識を体系的・理論的に学ぶ講義、具体的なデザイン手法を習得する設計演習、専門知識を体得する実験などでバランスよく構成され、国際社会の第一線で活躍する人材を養成します。

私の研究内容 都市設計研究室

古川 翔さん
人間環境学府
都市共生デザイン専攻 修士課程1年
岡山県岡山大安寺中等教育学校出身

建築学科には、建築の意匠や構造、環境に加え、都市計画やまちづくりの分野の先生方も多く在籍しています。私は、入学時に考えていなかった都市デザインに興味を持ち、現在は、建物周辺の環境や都市と人間の関わりを考える研究室に所属しています。都市の未来について考えるためには、机上の講義や研究だけでなく、現実のまちを観察し、人々の声に耳を傾けることが大切です。自分たちの提案を街の公共空間を対象に社会実験として実現し、都市に人々の居場所を生み出す可能性と難しさを肌で感じました。

PLANET-Q

「放課後は、宇宙開発を。」をモットーに、宇宙開発に関する技術開発や教育活動を行っています。プロジェクトには安価かつ安全性の高いハイブリッドロケット、成層圏でミッションを行うスペースバルーン、自律制御で走行するCanSat、自由度が高いモデルロケットなどがあり、学年や学部を枠を超え丸となって活動しています。



動画はコチラ



- 2022年8月 能代宇宙イベント Autodesk賞、団体貢献賞受賞
- 2023年3月 種子島ロケットコンテスト 有翼ペイロード部門 準優勝、IHIエアロ スペース賞受賞
- 2023年3月 モンゴル放球実験 スペースバルーンの放球・回収に成功

ロボコンチームKURT

九州大学の有志学生によるロボット競技チームです。メインとなる活動はロボットの制作で、設計から制御まですべて自分たちで行います。例年5月から6月に開催される「NHK学生ロボコン」への出場をはじめ、夏休みには「九州夏ロボコン」を主催。秋の「サイエンスワールド」への出展も含め、メンバー一丸でロボットの制作を行います。



- 2022年 8月 九州夏ロボコン2022 優勝
- 2022年 9月 第12回キャチロボバトルコンテスト 決勝トーナメント進出
- 2023年 6月 NHK学生ロボコン2023 本戦出場

鳥人間チーム

人力飛行機で飛距離を競う「鳥人間コンテスト」での優勝を狙い、滑空機を製作しています。空力・構造の設計や桁（スパー）焼き作業など、40年以上続く伝統の技術と新しいアイデアを融合させながら、日々創意工夫を凝らしつつ活動しています。NO熱線やフライスといった加工機を自在に使いこなし、自らの手で創作した機体のフライトは、製作者にとって生涯忘れ得ぬ経験となるはずです。



動画はコチラ



- 2019年 鳥人間コンテスト 第2位
- 2021年 鳥人間コンテスト 第6位
- 2022年 鳥人間コンテスト 第9位

ヒューマノイドプロジェクト

二足歩行ロボット格闘競技大会であるROBO-ONEでの優勝を目指して日々活動に取り組んでいます。基本的にロボットの設計・加工・制御を一から行っており、ロボットの構造、設計、回路、プログラミングといった様々な分野の知識を身につけることができるのが特徴です。普段の大学生活では決してできない貴重な体験ができるサークルです。



動画はコチラ



- 2022年 ROBO-ONE Light 代表選考会 in ロボファイト ベスト3
- 2023年 第25回ROBO-ONE Light 最終日認定大会 準優勝
- 2023年 第40回ヒューマノイドカップ 優勝 準優勝

Study abroad【工学部生のための留学プログラム】

ELEP(イーレップ):Engineering Leaders English Program

米国カリフォルニア州「サンノゼ州立大学 I-Gateways」での英語研修を中心に、起業家やベンチャーキャピタルの方々の講義やシリコンバレーにある大学やハイテク企業等へのフィールドトリップ等に参加しながら英語力をブラッシュアップする工学系学生向けの5週間の短期プログラムです。英語力アップに加えて、アントレプレナーシップ(起業家精神)の実態に触れ、イノベーションが起こる仕組みを学ぶことができます。(※コロナウィルスの影響により2022年度はオンライン3週間と短期留学2週間のハイブリット型で実施)



Q²PEC (キューベック):Qshu-Queensland Program for English Communication

オーストラリア、ブリスベンにあるクイーンズランド大学に附属しているUQ-Collegeにおいて世界各国からの留学生に混じって英語研修、ならびにクイーンズランド大学の工学系特別講義や研究室訪問を体験できる5週間の短期プログラムです。実践的な英語力を向上させるとともに、グローバルマインドの涵養や長期間の学位留学に向けたモチベーションアップも目指せます。(※コロナウィルスの影響により2022年度はオンラインで実施、2023年度は留学再開予定)



ELEP留学体験談

工学府 水素エネルギーシステム専攻
水素エネルギーシステムコース 修士2年
唐津東高等学校(佐賀県)出身

中村 省吾さん 留学先:サンノゼ州立大学(アメリカ)

オンラインでも価値ある留学プログラム

ELEPは2年生のときにポスターを見て知り、当時から魅力を感じていました。金銭的理由で参加を見送っていましたが、今回オンライン形式で費用負担も少なかったため参加することに決めました。

ELEPで最も刺激になったことは、シリコンバレーで働く方々の講演を通してアメリカと日本の考え方の違いを知り、経験に基づくアドバイスを頂いたことです。現地の優秀な学生の就職に対する考え方も知ることができ、自身の将来ややりたいことをより深く考えるきっかけになりました。また、今回の参加で英語で自分の考えを話したり、他の人の意見を聞いたりして、英語を使う楽しさを感じました。

Q²PEC留学体験談

工学部 機械航空工学科 機械工学コース 4年
宇部高等学校(山口県)出身

松原 響子さん

留学先:クイーンズランド大学付属語学学校ICTE-UQ(オーストラリア)

オンラインで自分の英語に自信を持てた

留学で最も印象に残ったことは、英語を勉強する方法がたくさん設けられていたことです。オンラインでの留学だったため、大学の授業のような留学になるだろうと予想していたのですが、クラスメイトとのディスカッションはもちろんのこと、双六や早押しクイズをしたり、動画を見たり、歌を聞いたりして、留学であるにもかかわらず英語を遊びのように学べました。英語を学ぶ意欲も湧きましたし、とても楽しかったです。

MESSAGE OB・OGメッセージ

徳丸 祥一朗さん

日本工営株式会社 コンサルティング事業統括本部

交通運輸事業本部 道路事業部 道路橋梁整備部

(工学府 建設システム工学専攻 2012年3月修了 工学部 地球環境工学科 卒業)



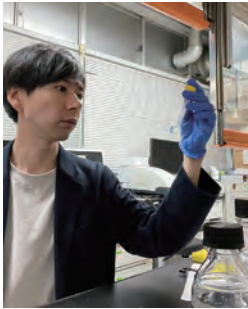
開発コンサルタントとして、発展途上国における道路・橋梁整備事業の計画、調査、設計、施工監理業務を行っています。現在は、アフリカのケニアに架ける長大橋の詳細設計業務に従事し、総勢70名を超えるチームのチームリーダー代理として業務全体を統括する役割を担っています。相手国政府に対して英語で橋梁設計技術を説明する機会が数多くあり、大学院修士課程で学んだ英語でのコミュニケーション力がとても役立っています。

仲本 正彦さん

国立大学法人大阪大学

大学院 工学研究科 応用化学専攻 分子創成化学コース 有機工業化学領域 助教

(工学府 化学システム工学専攻 博士後期課程2016年9月修了 工学部 物質科学工学科 卒業)



これまでにない新たな機能を持った高分子バイオマテリアルの開発に関する研究を行うとともに、研究室で学生の研究指導も行っています。学生と日々のディスカッション、試行錯誤を繰り返し、新たな現象を発見することにやりがいを感じます。九州大学では、研究の基盤となる哲学、知識、技術を培うことができました。自然豊かで設備も充実した伊都キャンパスは、のびのびと熱量を持って研究に打ち込める素晴らしい環境だと思います。

国生 昌美さん

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

九州支社 総合計画部

(2003年3月修了 工学部 地球環境工学科 卒業)



建設コンサルタントとして、主に、道路事業に関する環境影響評価、生活環境保全、自然環境保全の業務を担当しています。公共事業(インフラ整備)に携わっているため、社会的に役に立っていると考えるとやりがいを感じます。建設コンサルタントでは課題解決能力が求められますが、課題に対して問題点を洗い出し、解決策を検討するという大学の研究での取り組み方や取り組み姿勢が、今の仕事にも生かされています。

安部 晋一郎さん

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

原子力科学研究部門 原子力科学研究所 原子力基礎工学研究センター

化学・環境・放射線ディビジョン 放射線挙動解析研究グループ

(総合理工学府 先端エネルギー理工学専攻 2013年3月修了 工学部 エネルギー科学科 卒業)



目に見えない放射線の挙動を解析する計算コード"PHITS"の開発に携わるとともに、放射線が電子機器に及ぼす影響について研究しています。PHITSは原子力分野に限らず、医療や宇宙・地球惑星科学など幅広い分野で利用されており、開発に携わることで多くの方々に貢献できる点が魅力です。現在の研究は九州大学で取り組んだ研究テーマの発展形であり、大学で得た知識や技術、人との繋がりは現在の仕事の礎となっています。

大西 俊輔さん

株式会社QPS研究所 代表取締役社長 CEO

(工学府 航空宇宙工学専攻 博士課程 2013年9月修了 工学部 機械航空工学科 卒業)



福岡で宇宙開発を行っているQPS研究所は、恩師である九州大学名誉教授の八坂哲雄先生等が宇宙産業を根付かせるために2005年に福岡市に創業しました。私はその恩師の想いを引き継ぎたく、QPS研究所に入社し、半年後に代表取締役社長として会社を継ぎ、技術面より経営を行うとともに人工衛星開発プロジェクトの意志決定とその実行をしています。大学、大学院で学んだことすべてが現在の仕事に生きています。

ダニレフスキ 絵里子さん

Inhabit Australasia Pty Ltd

Building Physics + Sustainability

(人間環境学府 空間システム専攻 2012年3月修了 工学部 建築学科 卒業)



建物の開発や再開発に関し、環境や人に配慮した設計・仕組みを、建物のエネルギーシミュレーション、光環境の分析、湿熱環境解析などを元に提案するとともに、最近ではネットゼロカーボンやカーボンニュートラルに関するコンサルティングなどにも取り組み始めています。総合的なものの見方や意見・提案の伝え方は学生時代に培われたと思いますし、先生方、先輩、同級生、後輩との繋がりは今でも意見交換や学びの場となっています。

主な就職先リスト

電気情報工学科	材料工学科	応用化学科	化学工学科	融合基礎工学科	機械工学科	航空宇宙工学科	量子物理工学科	船舶海洋工学科	地球資源システム工学科	土木工学科	建築学科
【学部卒業後の主な就職先】 情報通信機械器具・電子部品・デバイス・電子回路製造業 ファナック 富士通 東京エレクトロン ソニーLSIデザイン 情報通信業 アドソル日進 ソフトバンク 楽天 オリンパス 楽天モバイル アマゾンウェルサービスジャパン NTTコムウェア 輸送機械器具製造業 トヨタ自動車 日産自動車 川崎重工業 マツダ ボッシュ 鉄鋼業 JFEスチール 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 関西電力 サービス業 アクセンチュア サイバーエージェント ベネッセコーポレーション 【修士課程修了後の主な就職先】 情報通信機械器具・電子部品・デバイス・電子回路製造業 ソニー 村田製作所 NEC 富士通 日立製作所 三菱電機 キオクシア 東京エレクトロン 安川電機 ウエスタンデジタル 日鉄ソリューションズ シャープ マイクロンメモリジャパン 情報通信業 ソフトバンク NTTドコモ KDDI ヤフー 野村総合研究所 楽天グループ NTTデータ YE DIGITAL 輸送機械器具製造業 トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 運輸業 JR東海 サービス業 サイバーエージェント 【博士課程修了後の主な就職先】 情報通信機械器具・電子部品・デバイス・電子回路製造業 ソニーLSIデザイン キオクシア 東京エレクトロン KDDI 総合研究所 SEC Research Institute とめ研究所 教育、学習支援、医療、福祉、複合サービス業 九州大学ほか大学法人 大分工業高等専門学校 海外の大学 日本学術振興会 建設業 三菱日立パワーシステムズ 西日本プラント工業 輸送機械器具製造業 モリタホールディングス 食料品、飲料・たばこ・飼料製造業 森永乳業	【学部卒業後の主な就職先】 鉄鋼業、非鉄金属・素材 山陽特殊製鋼 日本製鋼所 日本タングステン 輸送用機械器具 トヨタ自動車 スズキ 電気・情報通信機械器具 京セラ 運輸業 ANA 電気・ガス・熱供給・水道業 トヨタ自動車 高等教育機関・公務 公務員 【修士課程修了後の主な就職先】 鉄鋼業、非鉄金属・素材 日本製鉄 JFEスチール 神戸製鋼所 大同特殊鋼 AGC 住友電気工業 TOTO UACJ 山陽特殊製鋼 日鉄ステンレス 三井金属鉱業 愛知製鋼 日本精工 日本タングステン 輸送用機械器具 日産自動車 本田技研工業 トヨタ自動車 デンソー ダイハツ 電気・情報通信機械器具 キャンノン 三菱電機 パナソニック 日立製作所 東京エレクトロン ソニー 京セラ SUMCO 汎用・生産用・業務用機器 トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 三井金属鉱業 凸版印刷 九州電力 三菱マテリアル 村田製作所 キオクシア 【博士課程修了後の主な就職先】 鉄鋼業、非鉄金属・素材 神戸製鋼所 大同特殊鋼 山陽特殊製鋼 日本製鉄 JFEスチール 日本精工 住友電気工業 住友金属鉱山 チームAIBOD 富士通研究所 SEC Research Institute とめ研究所 教育、学習支援、医療、福祉、複合サービス業 九州大学ほか大学法人 大分工業高等専門学校 海外の大学 産業技術総合研究所 日本原子力機構 汎用・生産用・業務用機器 三菱重工業	【学部卒業後の主な就職先】 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 アトバンテック 建設業 鴻池組 卸売業、小売業 双日 高等教育機関・公務 公務員 【修士課程修了後の主な就職先】 化学工業・石油・石炭製品 三井化学 三菱ケミカル 住友化学 花王 旭化成 東ソー 積水化学工業 資生堂 三菱ガス化学 住友ベークライト AGC ニプロ クラレ 武田薬品工業 久光製薬 アステラス製薬 日鉄ステンレス 三井金属鉱業 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 三菱マテリアル 日本精工 日東電工 東レ ADEKA 電気・情報通信機械器具 パナソニック 京セラ キャンノン 食料品、飲料製造業 味の素 ヤクルト 【博士課程修了後の主な就職先】 化学工業・石油・石炭製品 三井化学 三菱ケミカル 住友化学 花王 旭化成 中外製薬 アステラス製薬 第一三共 三菱ガス化学 積水化学工業 出光興産 JSR カネカ 日産化学 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 日本ゼオン 住友金属鉱山 電気・情報通信機械器具 シスメックス 食料品、飲料製造業 JT 高等教育機関・公務 九州大学ほか大学法人 海外の大学	【学部卒業後の主な就職先】 化学工業、石油・石炭製品 小林製薬 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 食料品、飲料製造業 久原本家 高等教育機関・公務 公務員 【修士課程修了後の主な就職先】 化学工業、石油・石炭製品 旭化成 AGC アステラス製薬 出光興産 宇部興産 花王 カネカ JSR 昭和電工 日鉄ケミカル&マテリアル 住友化学 住友ベークライト 中外製薬 東ソー 富士フィルム 三井化学 三菱ケミカル 日本触媒 クラレ ニプロ 日本ゼオン 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 日本製鉄 東レ 電気・情報通信機械器具 パナソニック 京セラ キャンノン 食料品、飲料製造業 味の素 三菱重工業 建設業 日揮 東洋エンジニアリング 食料品、飲料製造業 味の素 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 学術研究、専門・技術サービス 化学及血清療法研究所 【博士課程修了後の主な就職先】 化学工業、石油・石炭製品 味の素 アステラス製薬 大塚製薬 杏林製薬 武田薬品工業 中外製薬 ニプロ 高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 産業技術総合研究所 電気・情報通信機械器具 パナソニック	【学部卒業後の主な就職先】 令和3年度新設学科 【修士課程修了後の主な就職先】 電気・情報通信機械器具 京セラ 富士通 村田製作所 ソニーセミコンダクタ九州 三菱電機 ダイキン工業 輸送用機械器具 トヨタ自動車 トヨタ自動車九州 マツダ ヤマハ発動機 デンソー 豊田自動織機 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JFEスチール JFEスチール 神戸製鋼所 TOTO 古河電気工業 汎用・生産用・業務用機器 川崎重工 三菱重工業 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 東京電力 情報通信業 NTTドコモ 【博士課程修了後の主な就職先】 化学工業、石油・石炭製品 旭化成 住友化学 三菱化学 三井化学 出光興産 電気・情報通信機械器具 三菱電機 日立製作所 パナソニック 富士ゼロックス セイコーエプソン ニコン 東芝 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 三菱マテリアル 住友金属鉱山 三井金属鉱業 汎用・生産用・業務用機器 三菱重工業 日立ハイテクノロジーズ 高等教育機関・公務 有明工業高等専門学校 九州大学ほか大学法人 産業技術総合研究所 情報通信業 NTTドコモ	【学部卒業後の主な就職先】 運輸業 九州旅客鉄道 全日本空輸 日本航空 輸送用機械器具 トヨタ自動車九州 ボッシュ 汎用・生産用・業務用機器 川崎重工業 電気・情報通信機械器具 安川電機 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 電源開発 【修士課程修了後の主な就職先】 輸送用機械器具 SUBARU デンソー トヨタ自動車 トヨタ自動車九州 豊田自動織機 日産自動車 本田技研工業 川崎重工 三菱自動車工業 運輸業 全日本空輸 汎用・生産用・業務用機器 IHI 川崎重工 小松製作所 三浦工業 アクセンチュア 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JFEスチール TOTO 日本精工 日本製鉄 電気・情報通信機械器具 京セラ ダイキン工業 古河電気工業 情報通信業 ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング リンクコーポレートコミュニケーションズ 東京海上日動システムズ 日鉄ソリューションズ アクセンチュア 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JFEスチール JFEスチール TOTO 日本精工 日本製鉄 電気・情報通信機械器具 NEC 川崎重工 日立製作所 三菱電機 日立製作所 東芝 キャンノン 富士通 NEC 高等教育機関・公務・学術研究 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 【博士課程修了後の主な就職先】 輸送用機械器具 SUBARU デンソー 住友精密工業 輸送用機械器具 トヨタ 日産 ホンダ マツダ 三菱自動車 デンソー 電気・情報通信機械器具 三菱電機 日立製作所 東芝 キャンノン 富士通 NEC 高等教育機関・公務・学術研究 宇宙航空研究開発機構(JAXA)	【学部卒業後の主な就職先】 運輸業 JAL ANA トヨタ自動車 ホンダ 三菱重工業 【修士課程修了後の主な就職先】 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 川崎重工業 IHI SUBARU 住友精密工業 輸送用機械器具 トヨタ 日産 ホンダ マツダ 三菱自動車 デンソー 電気・情報通信機械器具 三菱電機 日立製作所 東芝 キャンノン 富士通 NEC 高等教育機関・公務・学術研究 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 【博士課程修了後の主な就職先】 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 川崎重工業 IHI 輸送用機械器具 デンソー 電気・情報通信機械器具 日立製作所 東芝 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 【修士課程修了後の主な就職先】 量子科学技術研究開発機構 日本原子力研究開発機構 放射線医学総合研究所 核融合科学研究所 国立天文台 原子力エンジニアリング 電気・情報通信機械器具 富士電機 東芝 リガク 古河電池 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 原子燃料工業 三菱原子燃料 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 日立ハイテクノロジーズ 高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 海外の大学 化学工業、石油・石炭製品 旭化成	【学部卒業後の主な就職先】 輸送用機械器具 日立製作所 京セラ 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 TOTO 三井金属鉱業 運輸業 西日本鉄道 建設業 JFEエンジニアリング 輸送用機械器具 マツダ 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 高等教育機関・公務・学術研究 原子力規制庁 【修士課程修了後の主な就職先】 輸送用機械器具 大島造船所 ジャパン・マリンユナイテッド 今治造船 川崎重工業 三井E&S造船 名村造船所 今治造船 住友重機械マリンエンジニアリング 新来島どつく 三菱造船 トヨタ自動車 本田技研工業 日産自動車 ヤマハ発動機 川崎汽船 日本郵船 建設三井 戸田建設 清水建設 三井海洋開発 日揮 東洋エンジニアリング 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 神戸製鋼所 日立製作所 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 日本海事協会 高等教育機関・公務 防衛装備庁 海上自衛隊幹部候補生学校 【博士課程修了後の主な就職先】 輸送用機械器具 ジャパンマリンユナイテッド 三井E&Sマシナリー 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JFEスチール 日本製鉄 学術研究、専門・技術サービス 日本海事協会 海上技術安全研究所 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 高等教育機関・公務・学術研究 防衛装備庁 九州大学ほか大学法人 海外の大学	【学部卒業後の主な就職先】 電気・ガス・熱供給・水道業 石油資源開発 INPEX コスモエネルギーホールディングス 九州電力 卸売業 三菱商事 伊藤忠商事 高等教育機関・公務 県庁 市役所 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JX金属 三菱マテリアル 建設三井 戸田建設 清水建設 三井海洋開発 日揮 東洋エンジニアリング 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 神戸製鋼所 日立製作所 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 日本海事協会 高等教育機関・公務 防衛装備庁 海上自衛隊幹部候補生学校 小松製作所 学術研究、専門・技術サービス アクセンチュア 【博士課程修了後の主な就職先】 学術研究、専門・技術サービス JX金属 JFEスチール 日本製鉄 DOWAホールディングス 太平洋セメント 卸売業 三菱商事 住友商事 丸紅 三井物産 伊藤忠商事 運輸業 トヨタ自動車九州 建設業 千代田化工建設 清水建設 日揮ホールディングス 輸送用機械器具 日立造船 日立建機 汎用・生産用・業務用機械器具 小松製作所 学術研究、専門・技術サービス アクセンチュア	【学部卒業後の主な就職先】 建設業 鹿島建設 大林組 清水建設 大成建設 前田建設工業 高等教育機関・公務 国土交通省 環境省 県庁 市役所 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 【修士課程修了後の主な就職先】 建設業 鹿島建設 大林組 清水建設 大成建設 前田建設工業 横河ブリッジ JFEエンジニアリング 高等教育機関・公務 国土交通省 環境省 農林水産省 県庁 市役所 学術研究、専門・技術サービス 建設技術研究所 オリエンタルコンサルタンツ 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 日本製鉄 三菱マテリアル 電気・ガス・熱供給・水道業 電力各社 西部ガス 情報通信業 KDDI 野村総合研究所 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業 三菱電機 輸送機械器具製造業 本田技研工業 専門・技術サービス業 日本工営 乃村工藝社 ランドブレイン 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 運輸業 西日本鉄道	【学部卒業後の主な就職先】 高等教育機関・公務 航空自衛隊 都庁 市役所 建設業 オープンハウス 鹿島建設 建築設備設計研究所 積水ハウス 大和ハウス工業 大和リース VUILD 不動産業 福岡地所 フージャースホールディングス 情報通信業 サイバーエージェント 卸売業、小売業 ニトリ 日本ライフサポート 専門・技術サービス業 チェンジ 【修士課程修了後の主な就職先】 建設業 大林組 清水建設 大成建設 前田建設工業 横河ブリッジ JFEエンジニアリング 高等教育機関・公務 国土交通省 環境省 農林水産省 県庁 市役所 竹中工務店 東畑建築事務所 日建設計 日本設計 森村設計 不動産業 NTT都市開発 東急不動産 野村不動産 情報通信業 インテック KDDI 野村総合研究所 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業 日鐵建材 電気機械器具製造業 三菱電機 輸送機械器具製造業 本田技研工業 専門・技術サービス業 日本工営 乃村工藝社 ランドブレイン 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 運輸業 西日本鉄道	【学部卒業後の主な就職先】 高等教育機関・公務 九州大学 外国の大学 専門・技術サービス業 自営業

Facts and Figures of School of Engineering, Kyushu University

(As of May 1, 2023)

The number of students



The number of students

3,457

The number of female students **359**

The number of University students **11,708**



83.3%

enters graduate schools.

QS World University Rankings by Subject in 2023

Engineering - Mineral & Mining
Chemistry

Two subject areas ranked in the top

100

in the QS World University
Rankings by Subject in 2023

Rate of employment

Graduate School of Engineering



99.0%

Number of faculty members



276

Total number of
Kyushu University faculty members

2,307



Inbound

Number of international students

175

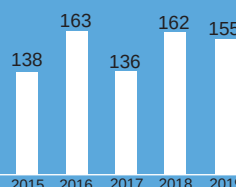
Number of countries/regions of
international students

29



Outbound

Number of students studying abroad



Rate of employment

Graduate School of
Information Science and
Electrical Engineering



97.6%

Ito Campus site area

FUKUOKA PayPay Dome
 × **39.3**

YAHUOKU! DOME = 69,130m²

Area of Ito Campus

2,717,130m²

The largest Campus in Japan

Total area(including affiliated facilities)

75.81 million m²

Fukuoka, as revealed through data

by Fukuoka City official website

The shortness of the
access time to the airport



1st

The shortness of the
access time to the airport
Among 48 cities
in the world

The number of
protected trees



1st

The number of
protected trees Among
ordinance-designated
cities

Fukuoka, as revealed through data

by Fukuoka City official website

Number of international
students in
Fukuoka Prefecture



3rd

nationwide
As of 2018

Consumer price
index regional difference
and retail prices



1st

among 21 major cities
As of 2022

Fukuoka, as revealed through data

by Fukuoka City official website

Ranking of towns people
want to live in



1st

japan
As of 2022



九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

九州大学工学部

CAMPUS GUIDE 2023

発行／令和5年7月

編集・発行者／九州大学工学部

<https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>



九州大学工学部 伊都キャンパス

〒819-0395 福岡市西区元岡744

TEL 092-802-2728

九州大学工学部 筑紫キャンパス

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1